

西市民病院だより

〒653-0013 神戸市長田区一番町2-4 | Tel 576-5251(代) | Fax 579-1920 | 地域医療在宅支援室

一人一人の患者さんに適した最先端の 泌尿器癌治療を提供するために

泌尿器科医長 亭島 淳



初めまして。泌尿器科の亭島と申します。平成6年に広島大学を卒業後、広島大学病院を中心に勤めておりましたが、この4月から当院に勤務させていただいております。何卒よろしくお願いたします。今回は私の専門分野であり、これまで数多く取り組んできました泌尿器癌のロボット支援手術と薬物療法における最近の急速な進歩、そしてそれらに対する当科の取り組みについて述べます。

泌尿器科におけるロボット支援手術

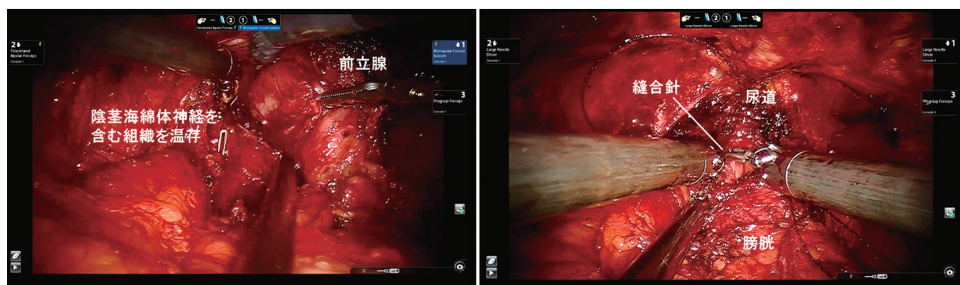
泌尿器科では狭くて深い後腹膜腔や骨盤内の臓器を対象とした手術が多く、以前から体腔鏡手術が盛んに取り入れられてきました。当院で行っている手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いたロボット支援手術では、高解像度の3次元視野のもと、関節機能を有する鉗子を用いた精細な操作によって、体腔鏡手術の技術的な困難性を克服し、癌制御、機能温存、安全性のすべてを求めうる低侵襲手術が可能です。当院では2015年にダヴィンチ Si を導入して前立腺癌の手術から開始、以後尿路上皮癌、腎細胞癌に対してロボット支援手術を行ってきました。今年4月末からはこれまでのダヴィンチ Si に代わって、最新鋭の機種であるダヴィンチ Xi を導入しており、精度の高い手術をさらに幅広い患者さんに提供することを目指しています。



(ダヴィンチ Xi
画像提供：インテュイティブサージカル合同会社)

前立腺癌

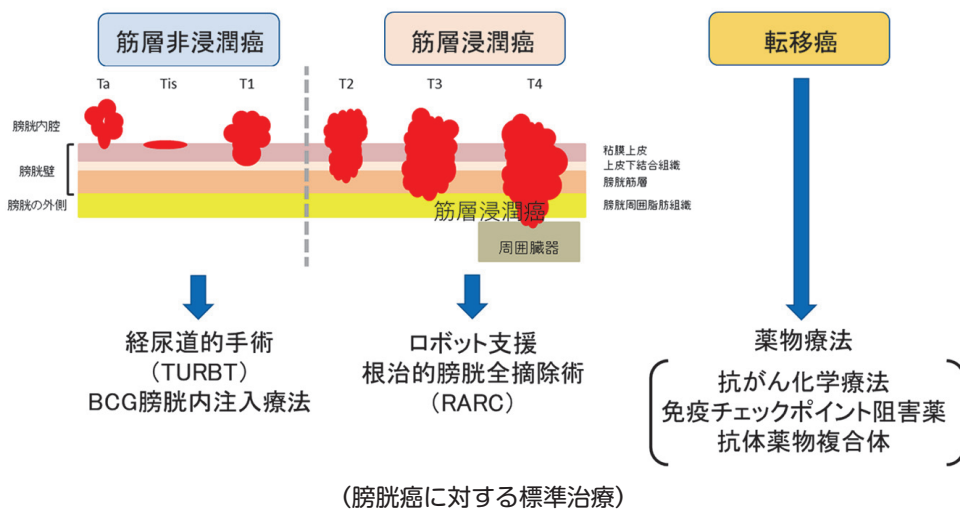
代表的な腫瘍マーカーである PSA のスクリーニングによって、限局癌が多数を占めています。限局癌では治療介入によって排尿機能、性機能への悪影響が懸念されます。当院では前立腺癌に対する手術は全例に対してロボット支援根治的前立腺全摘除術（RARP）を行っております。進行癌に対してはまずホルモン療法が標準治療で、病状が安定した場合は地域連携パスを活用して地域の先生方にホルモン療法の継続をお願いしています。ホルモン療法再燃のリスクが高い患者さんや再燃した患者さんには新規ホルモン剤やタキサン系抗がん剤を中心とした薬物療法を行っており、さらに DNA 修復酵素の異常がある患者さんに用いる薬剤もあります。新規性の高い多くの薬剤を使いこなし、バリエーションに富む治療が可能になりました。



(ロボット支援根治的前立腺全摘除術。確実性の高い神経温存操作と運針操作が可能となった。)

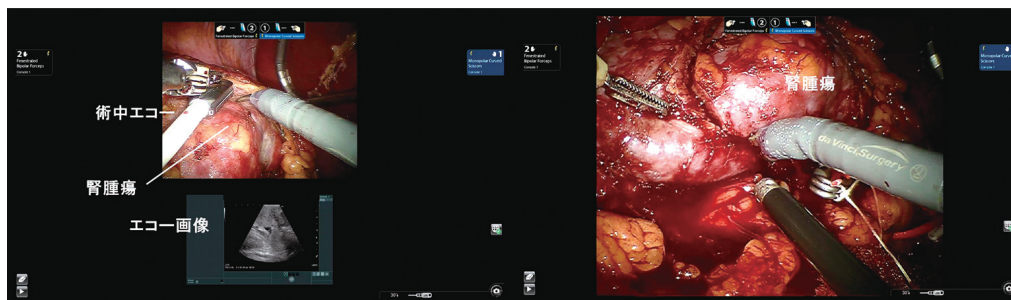
尿路上皮癌

尿路上皮癌に対しては、筋層浸潤のない膀胱癌では経尿道的手術、浸潤性膀胱癌には根治的膀胱全摘除術、上部尿路癌に対しては腎尿管全摘除術が行われます。当院は以前から尿路上皮癌の患者さんが多く、その手術件数は県下でもトップクラスです。2018年からはロボット支援根治的膀胱全摘除術（RARC）を開始、小さい創で出血量の少ない手術を可能にしました。2019年末からはRARC後の尿路変向術に対してもダヴィンチを用いて体腔内で行っています。術後再発や転移のある進行癌の患者さんに対しては、多剤併用抗癌化学療法、免疫チェックポイント阻害剤、抗ネクチン-4抗体を駆使し、個々の患者さんの病態に応じた多彩な薬物療法を行っています。



腎細胞癌

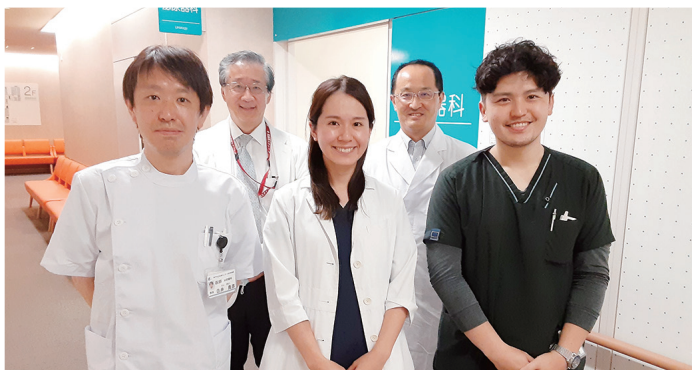
腹部エコーによる検診の普及に伴い、早期の腎細胞癌が増加しています。これに対する標準術式は腎摘除術ですが、腎部分切除術によって腎機能を温存しつつ同等の癌制御を得ることができます。腫瘍の位置やサイズによっては腹腔鏡を用いた腎部分切除術が手技的に困難な患者さんが多いですが、当院ではこういったいわゆる「高難度症例」に対してもロボット支援腎部分切除術（RAPN）で積極的に治療しています。進行癌に対しては、複数の分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤、そしてこれらの複合レジメンが多数導入されており、従来に比べて圧倒的に良好な治療効果が期待できます。



(ロボット支援腎部分切除術。術中エコーによって切除マージンを決定し腫瘍を切除する。)

おわりに

地域の先生方からのご紹介、ご支援に対し心より感謝しております。泌尿器癌に対する治療は手術、全身治療ともに急速に進化し多様化しています。ご紹介いただきました一人一人の患者さんに最適な、そして高品質な癌治療を提供すべく、みんなで力を合わせて励んでおります。今後とも何卒よろしくお申し上げます。



(泌尿器科スタッフ。左から吉井、中村、三田、亭島、植松)



<https://nishi.kcho.jp/annai/shinryoka/hinyokika.html>
■泌尿器科紹介ページ



<https://nishi.kcho.jp/davinci>
■ダヴィンチ特設サイト

当院におけるがん治療について

～がん登録統計より～

医療情報係

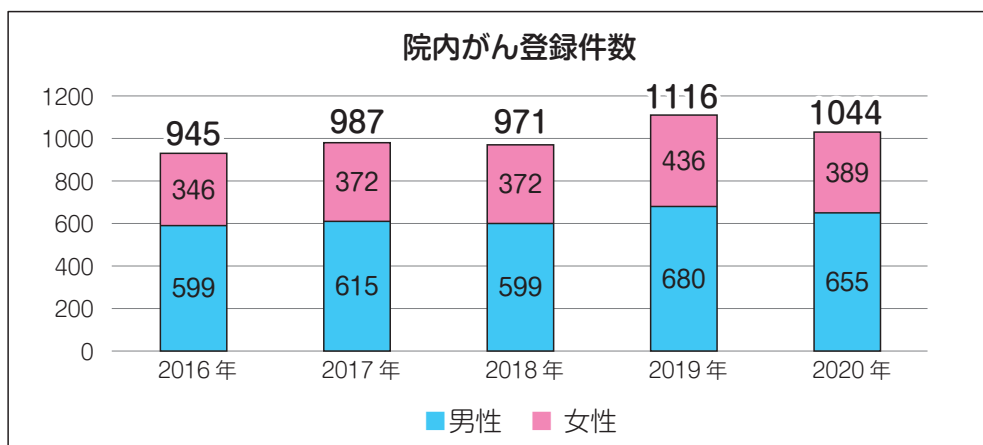
「がん診療連携拠点病院」は患者さんが全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるように、各地域におけるがん診療の連携・支援を推進するため、厚生労働大臣より指定された病院のことで、

各都道府県で中心的役割を果たす「都道府県がん診療連携拠点病院」と都道府県内の各地域で中心的役割を果たす「地域がん診療連携拠点病院」があり、またその他に兵庫県が独自に指定する「兵庫県指定がん診療連携拠点病院」（県指定拠点病院）と、「がん診療連携拠点病院に準じる病院」があります。当院は平成24年4月1日に「がん診療連携拠点病院に準じる病院」に指定されています。

当院では、認定を受けた院内がん登録実務者によって、当院で診断、治療を受けたすべての患者さんのがんについての情報を集め、「院内がん登録」業務を日々行っています。

院内がん登録に参加することは、他病院との比較ができ、また自施設のがん診療の特徴や問題点が明らかになるものと期待されています。

今回はそのがん登録統計から当院のがん登録件数と、がん治療における部位別登録件数及びその特色をご紹介します。



当院の過去5年間の院内がん登録件数はグラフの通りとなっています。男女比率は男：女＝約6：4となっており、全国的にも同様の傾向です。2020年の登録件数は前年よりも減っていますが、皆様が予想される通り新型コロナウイルス感染症が大流行し、感染を恐れた国民の受診控え（検診の受診控え、医療機関の受診控え）により「がんの診断・登録数」が前年に比べて減少したことが原因と考えられます。2021年の全国のがん検診受診者は前年に比べ大きく増えたものの、コロナ発生前の水準には戻っていないといわれています。当院における2021年のがん登録件数は現在の時点ではまだ確定しておりませんが、2020年の件数と大きく変わらない見込みです。

次に当院の部位別登録件数及びその特色です。

男性	局在名称	件数	%	女性	局在名称	件数	%	総合	局在名称	件数	%
1	肺	126	19%	1	大腸	75	19%	1	大腸	186	18%
2	大腸	111	17%	2	肺	59	15%	2	肺	185	18%
3	前立腺	99	15%	3	乳房	59	15%	3	前立腺	99	9%
4	膀胱	71	11%	4	胃	29	7%	4	膀胱	94	9%
5	胃	59	9%	5	子宮頸部	26	7%	5	胃	88	8%

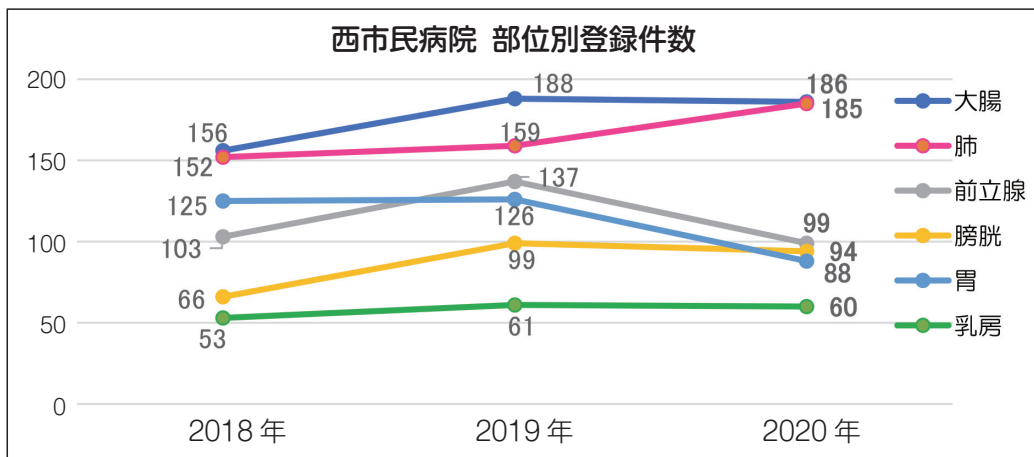
部位別がん罹患件数と割合（2020年西市民病院）

当院の統計では、男性は上位3部位まで肺・大腸・前立腺と並んでいます。女性では男性の前立腺に代わり乳房が上位3部位に入っています。総合的に見ると大腸や肺が多くを占めており、全国的にも近年は大腸がんが最も罹患数の多いがんとなっているのが現状です。

院内がん登録の情報により、このような件数だけでなく、例えば自主的に受診したのか他施設からの紹介で受診したのかなどの来院経路や、そのがんがどのタイミングで発見されたのか（健康診断等で発見されたのか、他疾患経過観察中に偶然発見されたのか）などの発見経緯など、患者の受診までの経過の違いや、がんの種類別の

違い、治療法（外科的治療、内視鏡的治療、放射線治療、化学療法…）の比率等もわかります。

今後も当院において診療が行われたがんの情報を的確に把握、登録を行うことががん医療の質の向上に繋がると考えています。



認知症疾患医療部(認知症疾患医療センター)からのお知らせ ～ホームページの掲載について～



認知症疾患医療部 部長 木原 武士

脳の疾患により認知機能低下が低下、社会生活に支障が出て援助を必要とする状態が「認知症」です。アルツハイマー病や脳卒中のほか、アルコールによっても認知症となります。当科では認知症疾患の診断と治療法の提案を行っています。

さて、当院のホームページが新しくなり、当科も変更を加えました。また資料集として、認知症についてのスライド等を載せました。

「認知症疾患診療ガイドライン2017」に基づき、中核症状、認知症の行動・心理症状(BPSD)に対する薬剤に関するスライド、認知症のある方への接し方に関するスライドを作成しました。また認知症リスクを軽減するような生活習慣について、世界保健機関(WHO)が提案している内容を私なりの解釈で記載したスライドも作成しました。ご活用いただき、皆で早期に認知症に対応できればと思います。

右のQRコード(URL)からご覧ください。



<https://nishi.kcho.jp/annai/shinryoka/nintisyo.html>

対応の仕方についてのヒント

注意:
他の先生方から学んだ内容(参照先省略)やセンター長の私見も含まれます
個別性が高いため、全ての症例で有効であるわけではありません
認知症のひとりの主張が誤りの場合に全てを受容する必要はありません
また介護者様の自己犠牲を求めているものではありません
介護者様の状態が良くないと、良い介護はできません
無理をせず、可能な範囲でご対応ください
難しい時には距離をおきましょう

認知症リスクを下げる生活習慣 WHOガイドラインから

注意:
この生活習慣で認知症にならないわけではありません
認知症となるリスクを下げるのが目的です
センター長の私見も含まれます

地域医療在宅支援室からのご挨拶

院長代行・地域医療部長 中村 一郎

地域医療在宅支援室長 高橋 千香

地域の医療機関、訪問看護ステーション、介護・保健・福祉関係の皆様方には日頃から当院へのご支援、ご厚情を賜りありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の流行が起きてからの2年余り、市民病院としてできるだけ感染状況に応じたコロナ専用病床の確保に努めてまいりましたが、そのため一般病棟を50~150床ダウンサイジングせざるを得ない状況が常にあり、地域の医療機関からの入院要請にお応えできないときが少なからずあり、本当に申し訳なく忸怩たる思いがあります。特に第6波は感染力の強さ故、各病院ともクラスターや職員の就業停止に悩まされ、入院が止まる病院があちこちに発生しました。当院の病床が厳しいときは神戸市内全体の入院ベッド状況も厳しく、地域の医療機関の皆様も苦労されたこととお察しいたします。入院ベッドを効率よく稼働させるためには、アフターコロナの患者さんをはじめ一般患者さんにおいても、できるだけ速やかな転院や施設調整、退院調整が必須です。後方連携をいただいている地域の医療関係者の皆様には心より感謝をしております。

当院では元よりかかりつけ医の先生方への逆紹介を推進してまいりました。紹介患者さんはいうまでもなく、救急入院等がかかりつけ医からの紹介状をいただいていない時でも、退院時に当院からの情報提供をできる範囲でお渡しするように努めております。情報提供できていない場合は遠慮なく当院へお問い合わせください。

昨年度はコロナ禍で現地開催はできないものと年度当初から想定して、Web形式でオープンカンファレンスや市民公開講座を企画していきました。「地域連携のつどい」はコロナ波の間隙を縫って、神戸医師会館でハイブリッド開催し、現地参加102名、WEB参加41名、合計143名の参加人数となりました。また、西市民連携セミナー、訪問看護ステーションとの交流会、在宅療養カンファレンス等各種オープンカンファレンスはほぼWEB開催とし、WEB上でのグループワークや意見交換を行いました。1年間で合計27回、1054名(院外591名)の参加がありました。新型コロナウイルス感染症の流行前に比べるとまだまだ少ないのですが、コロナ禍にあってもできる形で地域連携を止めないという当院の職員の思いが皆様に伝わったら嬉しく思います。今年度もWEBを中心とした開催が主になるとは思いますが、コロナの感染状況をみながら、可能であれば感染予防に十分配慮した様式で地域の皆様に参加していただき、顔の見えるより良い連携が図れたらと願っております。これらの講演の一部は、リニューアルした本院のホームページ(<https://nishi.kcho.jp>)で「YouTube 西市民チャンネル」と銘打ってリンクを張って公開しておりますので、ご興味のある方は是非ともご覧ください。

認知症疾患医療センターでは、助成制度を使っ



手意識を持つ方々も受入れやすくなるように感じた」と医療関係者の方々からも嬉しいお言葉をいただきました。

今年度こそはコロナの終息とダウンサイジングすることのない業務遂行を願いますが、こればかりは予断を許しません。神戸市内では減少傾向にあったコロナ新規患者数も3月末からは徐々に増加に転じております。当院はできるだけ効率的な病床運営を図りながら、地域に根差した中核病院として急性期病院、地域医療支援病院としての役割を果たしてまいります。当部署は地域との連携の窓口として、これまで以上にきめ細やかな対応や事業展開をしていきたいと考えております。引き続きご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

連携セミナー開催のご案内

(オンライン開催 (Zoom を使用))

～西市民病院 最新の医療について～

2022年6月30日(木) 17:30～19:00

「糖尿病合併症から地域の幸せを守る3つのポイント」

講師：神戸市立医療センター西市民病院

糖尿病・内分泌内科 部長 中村 武寛医師

日医カリキュラムコード CC：15 (臨床問題解決のプロセス) 0.5単位

「膵癌を治る癌へ！早期発見のポイント」

講師：神戸市立医療センター西市民病院

消化器外科 医長 中嶋 早苗医師

日医カリキュラムコード CC：15 (臨床問題解決のプロセス) 0.5単位



「質疑応答」

対象者

地域医療に関わるすべての方
(医師：日医生涯教育講座単位取得可能)

お申込み

右の QR コードからお申込みください。

締 切

2022年6月23日(木)



主催：神戸市立医療センター西市民病院

共催：神戸市長田区医師会

お問い合わせ：西市民病院 地域医療在宅支援室 ☎078-576-5251

令和4年度オープンカンファレンス開催予定一覧

(令和4年4月1日時点)

	日 程	曜日	開催時間	カンファレンス名	代表部署
1	2022/6/9	木	18:00~19:30	市内訪問看護ステーションとの交流会	地域医療在宅支援室
3	2022/7/14	木	18:00~19:30	ケアマネジャー・あんしんすこやかセンター・医療介護サポートセンター等との交流会	地域医療在宅支援室
5	2022/7/28	木	18:00~19:30	リエゾンチームオープンカンファレンス	リエゾンチーム
*7	8月頃		18:00~19:00	西市民栄養カンファレンス	NST チーム
9	2022/9/1	木	18:00~20:00	アレルギー児に対する地域連携の会	小児アレルギーチーム
10	2022/9/15	木	18:00~19:30	在宅療養カンファレンス①	地域医療在宅支援室
*11	10月頃		18:00~19:30	呼吸ケアチームオープンカンファレンス	呼吸ケアチーム
*12	11月~12月		18:00~19:30	NST オープンカンファレンス	NST チーム
13	2022/12/15	木	18:00~19:30	在宅療養カンファレンス②	地域医療在宅支援室
14	2023/1/12	木	18:00~19:30	院内外多職種交流会	地域医療在宅支援室
*15	1月~2月		18:00~19:30	MSW オープンカンファレンス	地域医療在宅支援室
16	2023/2/9	木	18:00~19:30	緩和ケアチームオープンカンファレンス	緩和ケアチーム
17	2023/3/16	木	18:00~19:30	看一看連携研修報告会	地域医療在宅支援室
*18	1月~3月		17:30~19:00	認知症患者医療センターオープンカンファレンス	認知症患者医療センター
*19	未 定		未 定	臨床検査技術部オープンカンファレンス	臨床検査技術部

*：日程未定

市内訪問看護ステーションとの交流会（オンライン開催）のご案内

テ ー マ：「入院してからではもう遅い！外来（通院時）から取り組む入退院支援」

内 容：当院での取り組みの紹介・アンケート結果を含めた意見交換

日 時：令和4年6月9日（木）17:30~19:00

場 所：オンライン（Zoom）

申込方法：右のQRコードからお申込みいただくか、w_kouza@kcho.jp へ以下の内容を
送信下さい。

① 件 名 「市内訪問看護ステーションとの交流会」

② 本 文 「氏名」、「施設名」、「職種」、「返信用メールアドレス」、「電話番号」

③ 締切日 令和4年6月2日（木）



医師の転出・転入等のお知らせ

【転出等 4月30日付】

所 属	補 職	氏 名
麻 酔 科	専 攻 医	松本 絢子

【転入等 5月1日付】

所 属	補 職	氏 名
麻 酔 科	専 攻 医	松田 龍太
麻 酔 科	専 攻 医	土居 平尚

Table with columns for Department/Clinic (診療科/診療室), Date (月), and Time (午前, 午後). Rows include various medical specialties such as Internal Medicine (内科), Pediatrics (小児科), Surgery (外科), and Obstetrics/Gynecology (産婦人科). Each cell contains the name of the attending physician or a note about the service.